

平成22年度 リサーチウィークス

期間:平成23年2月、3月



オープニングレクチャー

開催日時:平成23年2月23日(水) 13:00~15:00

開催場所:120-2C講義室 (120周年記念館2階)

講演者:平澤尚孝 保育科准教授、藤森文啓 環境教育学科准教授

FDフォーラム

開催日時:平成23年2月24日(木) 13:00~15:00

開催場所:120-3C講義室 (120周年記念館3階)

内容:平成22年度 東京家政大学FDフォーラム(2頁)参照

授業公開から見える東京家政大FDの課題 ~東京家政大FDは「何を」変えるか~

ポスターセッション

開催日時:平成23年2月22日(火)~24日(木) 9:00~17:00

開催場所:多目的ホール (120周年記念館1階)

参加部署:リサーチウィークス ポスターセッション参加一覧(4~5頁)参照

※他の研究発表等については、リサーチウィークス 研究発表会等日程(3頁)参照

平成 22 年度 東京家政大学 FD フォーラム

授業公開から見える東京家政大 FD の課題 ～東京家政大 FD は「何を」変えるか～

平成 22 年 3 月に開催された大学コンソーシアム京都・第 15 回 FD フォーラムにおいては、「学生の学びを支える 一つながり FD の展開」がテーマであった。教員・職員・学生のつながりの中で学生の学びを広げ、高めるために、何をなすべきかが議論された。ただし、「これが FD 活動である」というスタンダードが確立されていない中で、まず、各大学で自らの大学を良くするにはどうすればよいかを真摯に考え、独自に取り組むことが FD の基本である、という意見が出たことは示唆的であった。

「FD 活動をやって何が変わったか」ではなく、「FD 活動で何を变えたか」という発想に転換するためにも、平成 22 年秋に本学で実施された大規模な授業公開は、東京家政大独自の FD の方向性に何らかの影響を与えるはずである。今回、それを検討してみたい。

《日時》平成 23 年 2 月 24 日(木) 13:00～15:00

《場所》120-3C 講義室 (120 周年記念館 3 階)

司会・進行：井上俊哉 副委員長・平山祐一郎 副委員長

13:00-13:05 **はじめに** 「本日のフォーラムの趣旨」 高岸徹 委員長

13:05-13:20 **話題提供①** 「平成 22 年度 第 2 回授業公開について」 井上俊哉 副委員長

[内容] 授業を見学することに本当に意味があるのだろうか？ 今回いくつかの授業を見学させてもらった経験に基づく答えは YES である。授業見学の具体的な活かし方については半澤先生にお願いすることにし、私は授業を見学して良かったと感じたことを、素朴に述べようと思う。

13:20-13:45 **話題提供②** 「東京家政大学における授業公開の有意義な活用法を探る」

半澤嘉博 児童教育学科准教授

[内容] 授業公開を有意義なものにするには、授業で改善工夫している視点の明示が必要である。そして、今後、情報機器の活用、課題解決学習や討論の仕方の工夫、効果的な演習方法、学習評価などの視点での実践と検証を確実に積み重ねていくことが重要である。

13:45-13:55 **質疑応答および意見交換** ここまでの内容に関して

13:55-14:20 **話題提供③** 「ドイツの大学教育から東京家政大学 FD の独自性を探る」

マティアス・ランブレヒト 児童学科助教

[内容] 日本に比べドイツの大学教育は、①学生の自主運営の行事が多い、②大学スタッフと学生の国籍や文化が多様である、③学科間の連携が強い、などの特徴がある。東京家政大学ならではの FD を考えた場合、学生の主体性を育むという観点から話題提供したい。

14:20-14:45 **話題提供④** 「デンマークの大学教育から東京家政大学 FD の独自性を探る」

松岡洋子 教育福祉学科特任講師

[内容] デンマークの大学教育の特徴は、①目的意識をもった大学進学、②入りやすく卒業しにくい、③主体性（主張、議論、プレゼンテーションのうまさ）などである。東京家政大に赴任して感じた学生の印象を話し、今後求められる社会人の資質という観点から話題提供したい。

14:45-14:55 **質疑応答および意見交換** 話題提供③と④に関して

14:55-15:00 **おわりに** 「本日のフォーラムから得られたこと」 高岸徹 委員長

リサーチウィークス 研究発表会等日程

月日	曜日	研究発表会等
2月 1日	火	
2月 2日	水	
2月 3日	木	
2月 4日	金	
2月 5日	土	
2月 6日	日	↑(造形) 卒業制作展 <北とびあ> 2/6~12
2月 7日	月	
2月 8日	火	
2月 9日	水	
2月10日	木	
2月11日	金	
2月12日	土	↓
2月13日	日	
2月14日	月	(環教) 吉原ゼミ卒業研究発表会 (環教) 松木ゼミ卒業研究発表会
2月15日	火	(環教) 井上ゼミ卒業研究発表会 (心カ) 三浦ゼミ卒論・修論発表会 13:00~ <143A>
2月16日	水	
2月17日	木	(文院) 修士論文発表会・最終試験
2月18日	金	
2月19日	土	
2月20日	日	
2月21日	月	(環教) 藤森ゼミ卒業研究発表会
2月22日	火	↑ポスターセッション <多目的ホール> 2/22~24
2月23日	水	オープニングレクチャー 13:00~15:00 <120-2C> (環教) 藤森先生研究発表
2月24日	木	↓フォーラム 13:00~15:00 <120-3C> (家院) 博士論文公開発表会・最終試験
2月25日	金	(家院) 修士論文発表会・最終試験
2月26日	土	(服美) 学科・科内教員研究発表会 (心カ) 相馬ゼミ卒論・修論発表会 14:00~
2月27日	日	
2月28日	月	

月日	曜日	研究発表会等
3月 1日	火	生活科学研究所研究報告会 午前 教員研究成果発表会 13:00~
3月 2日	水	
3月 3日	木	
3月 4日	金	
3月 5日	土	
3月 6日	日	
3月 7日	月	
3月 8日	火	
3月 9日	水	
3月10日	木	
3月11日	金	
3月12日	土	
3月13日	日	
3月14日	月	
3月15日	火	
3月16日	水	
3月17日	木	
3月18日	金	
3月19日	土	
3月20日	日	
3月21日	月	
3月22日	火	
3月23日	水	
3月24日	木	
3月25日	金	
3月26日	土	
3月27日	日	
3月28日	月	↑(造形) 助教研究発表・展示会 <7号館1階ロビー> 3/28~4/2
3月29日	火	
3月30日	水	
3月31日	木	↓

4/2(土)

リサーチウィークス ポスターセッション参加一覧【教員部門】

所属		担当者	参加内容
1	家政学研究科	長尾慶子	日本家政学会 62 回大会 新宿御苑における商業レストラン発のエコクッキング導入効果 (博士課程 2 年 三神彩子)
2			日本調理学会 平成 22 年度大会 和食モデル献立におけるエコクッキングによる排水の汚濁負荷の軽減効果の分析 (博士課程 2 年 三神彩子)
3			日本調理学会 平成 22 年度大会 野菜漬物の調製条件の違いが品質ならびに抗酸化に及ぼす影響 (H21 修士終了 小松あき子、非常勤講師 永塚規衣)
4	家政学研究科	飯塚堯介	綿・ポリエステル混紡布の二成分の分離 (被服造形学専攻 宮本裕子)
5	児童学科	高野貴子	ダウン症療育相談の実態 ―高齢化と成人期への対応―
6	栄養学科 食品衛生学第2研究室	森田幸雄	ポスター、論文、専門紙等の掲示
7	栄養学科	関口紀子 塩入輝恵 和田涼子	武蔵野市の健康調査に関する調査研究 (第 1 報～第 3 報)
8	栄養学科	武田純枝	中学 3 年生女子の瘦身傾向と食事調査 1. 第 6 回日本小児栄養研究会で発表した内容を提示 2. 第 15 回国際栄養士会議で発表した内容を提示
9	栄養学科	葛城千紗	高齢者施設群に入院・入所している高齢者の自立度別にみた栄養状態の特性
10	栄養学科	塩谷一紗	第 83 回日本生化学会大会で発表した研究のポスター展示
11	服飾美術学科 繊維加工研究室	高岸 徹 長嶋直子	「これからの衣生活を考える ―環境調和・美・快適性を求めて―」 今まで行ってきたエコフレンドリー繊維染色加工に関する研究の概要を紹介し、 今後の進むべき方向について考える。
12	服飾美術学科 服飾造形第3研究室	長塚こずえ 岸 なつき	女子大学生におけるピンク色に対する嗜好と評価 ―濃淡によるイメージ変化について―
13	造形表現学科	大木敦子	「コーデュロイ構造を用いたタペストリー制作」 研究内容の発表と作品写真の展示
14	造形表現学科	関根千晴	「炭化珪素を用いた釉薬の研究」 研究成果の発表と作品写真の展示
15	環境教育学科	村上和雄	クローメトリック検出器を利用する HPLC によるスーダン色素の定量法の検討
16	環境教育学科	松木孝幸	データベースを活用した雑誌 Panch のキーワード検索とその経年変化について
17	環境教育学科	吉原富子	「食品中の残留農薬」に関するポスター展示
18	環境教育学科	井上宮雄	研究内容の展示
19	心理カウンセリング学科	細田幸子	「大学生におけるユーモアコーピングと精神的健康との関連」 人間文化研究所内プロジェクト研究推進費の補助を受けて実施した研究について
20	英語コミュニケーション学科 第 3 英語学研究室	鈴木繁幸	たばこを歴史の遺物にするために、諸外国が行っている簡単なこと ―何故、日本では出来ないのか―

リサーチウィークス ポスターセッション参加一覧【事務部門】

部 署		参 加 内 容
1	生活科学研究所	平成 22 年度 成果報告等
2	地域連携協力推進センター	平成 22 年度 東京家政大学狭山校舎 前期・後期開講講座
3	図書館	1. 「東京家政大学機関リポジトリ」公開状況と今後の展開について 2. 図書館活動の分析と報告①全体 図書館の利用統計や資料整備について 3. 図書館活動の分析と報告②別館 平成 22 年度に行った「交流会」や「書評」の報告
4	博物館	博物館活動の報告展示 博物館実習生の受入れについて
5	保健センター	保健センターの活動報告
6	国際交流センター	「東京家政大学企画の留学プログラム」の展示
7	進路支援センター	平成 19・21・22 年度 文部科学省競争的資金獲得 GP 等採択一覧
8	教育・学生支援センター 学生支援課	平成 22 年度 学生生活支援行事報告
9	ヒューマンライフ支援センター	ヒューマンライフ支援センターの活動は、学科・科を越えて、学生の発想した企画を実行できるよう支援してきました。また、官・学・産の連携事業に大学が培ってきた知的財産を活用し参加支援してきました。 これらの、活動成果を展示及び配布物によって参加いたします。
10	生涯学習センター	平成 22 年度 生涯学習センターの活動報告及び オープンカレッジ公開講座の内容紹介展示
11	財務部 管財課	大学内に掲示している省エネルギー対策を呼びかけるポスターやシール等の展示